

松阪市通学路交通安全プログラム

～通学路の安全確保に関する取組の方針～



平成27年4月

松阪市通学路安全推進会議

1. プログラムの目的

平成24年、全国で登下校中の児童生徒が死傷する交通事故が相次いで発生したことから、平成24年度に各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、必要な対策を講じてきました。

引き続き通学路の安全確保に向けた取組を行うため、このたび、関係機関の連携体制を構築し、「松阪市通学路交通安全プログラム」を策定しました。

今後は、本プログラムに基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていきます。

2. 通学路安全推進会議の設置

関係機関の連携を図るため、以下をメンバーとする「通学路安全推進会議」を設置しました。本プログラムは、この会議で議論し策定しました。

松阪市通学路安全推進会議構成メンバー

機 関 名	主な役割	備考
松阪警察署 交通課	道路交通に関する指導等	交通関係
松阪市環境生活部地域安全対策課 各地域振興局地域振興課	交通安全に関する啓発等 交通規制に関する要望窓口	
三重県松阪建設事務所 松阪市都市整備部 土木課・維持監理課 各地域振興局地域整備課	道路施設に関する整備、維持等 (歩道の整備、区画線の設置等) 道路施設に関する要望窓口	道路管理者
松阪市教育委員会学校支援課 各教育事務所	児童への指導、教育 学校等との連絡調整	学校関係

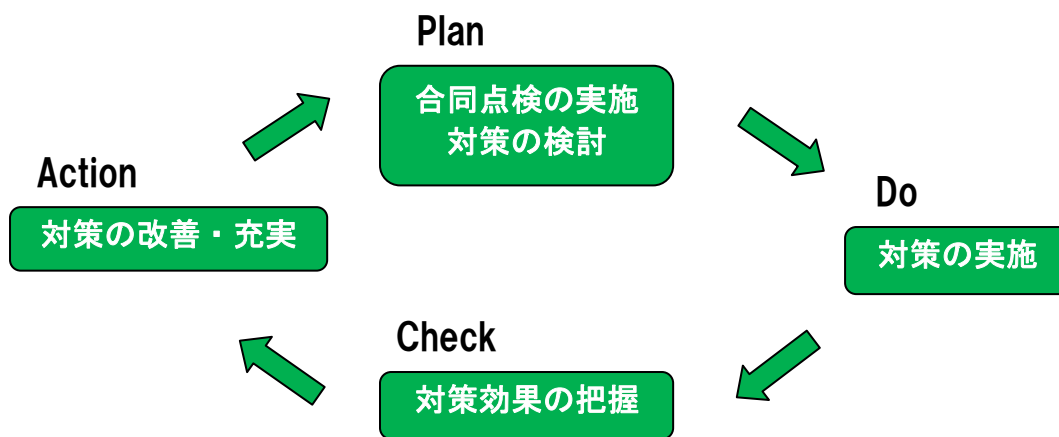
3. 取組方針

(1) 基本的な考え方

継続的に通学路の安全を確保するため、合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握も行い、必要があれば対策の改善・充実を図ります。

これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図っていきます。

[通学路安全確保のためのPDCAサイクル]



(2) 定期的な合同点検

ア 合同点検の実施時期等

○市内小学校を3つのグループに分け、小学校から事前に交通安全の観点から危険があり、かつ、合同点検が必要と認められる箇所を抽出し、実施します。

○合同点検を実施しない年度においても、緊急を要すると判断した箇所については、合同点検を実施します。

年間スケジュール

	4	5	6	7	8	9	~	3
通学路の設定 危険箇所の抽出	←→							
推進会議の開催		←→						←→
合同点検実施			←→					
対策の実施			←→					

※対策の実施は、翌年度以降の実施になる場合があります。

イ 合同点検の体制

小学校単位に、学校、警察、道路管理者、教育委員会、PTA、自治会等が参加する合同点検を行います。

〈合同点検時のメンバー例〉

- ◆松阪市通学路安全推進会議メンバー
- ◆小学校教職員
- ◆PTA
- ◆学校安全ボランティア
- ◆自治会、地域住民など



(3) 対策の検討

合同点検の結果から明らかとなった対策必要箇所について、箇所ごとにハード対策及びソフト対策両面から具体的な実施メニューを検討します。

〈対策の例〉

ハード面の対策	ソフト面の対策
①道路・歩道の整備等	①児童への注意喚起
②ガードレール、ポール等の設置	②児童への交通安全教育
③路面標示(区画線、カー舗装等)の設置	③保護者、地域、学校職員等による街頭指導
④信号機の設置	④学校支援ボランティア、市交通指導員等見守り活動
⑤横断歩道の設置	⑤通学路の見直し
⑥標識、看板等の設置	
⑦安全確保等の用地買収	

(4) 対策の実施

対策の実施にあたっては、対策が円滑に進むよう、関係者間で連携を図ります。また、合同点検実施年度中に実施する場合や大規模な整備などは年次計画的に実施する場合があります。

(5) 対策効果の把握

合同点検結果に基づく対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果が上がっているのか、また児童生徒等が安全になったと感じているのか等を確認するため、

- ・ 児童、PTA、学校関係者への意見徴収
- ・ 交通状況や事故状況の把握

など、対策実施後の効果を把握するための手法を検討し、対策効果の把握を実施します。

(6) 対策の改善・充実

対策実施後も、合同点検や効果把握のための結果を踏まえて、対策内容の改善・充実を図ります。

4. 対策一覧表の共有

小学校ごとの点検結果や対策内容については、関係者間で認識を共有するため、通学路対策一覧表を作成し、公表します。

【別添資料】通学路対策一覧表

対策例



- 信号の設置
- 路側帯、歩道のカラー舗装化
- 歩道の拡幅整備

- 横断歩道の設置
- 待機場所の設置

対策例



- ガードレールの設置
- 交差点のカラー舗装化
- 減速マークの設置